

平成24年2月19日(日)・3月18日(日)

はんだ郷土史研究会河合小ゼミレジュメット

幕末における尾張藩の黒船対策

半田市文化財専門委員会 委員長 河合克己

1. 幕末の主な対外的事件

寛政年間(1789~00)頃から外国船の来航増加する	嘉永2年(1849) 英測量船が江戸湾の測量する
享和3年(1803) 米英船長崎へ来航し貿易を要求	嘉永5年(1852) ロシア船が浦賀へ来航
文化11年(1814) 英船長崎へ来航	嘉永6年(1853) ペリー浦賀へ来航(米船)
文化13年(1816) 英船琉球へ来航	安政元年(1854) ペリー再来日し日米和親条約
文化14年(1817) 英船琉球へ来航	を調印(下田へ領事を置く、
文化14年(1817) 英船浦賀へ来航	米船に薪、水、食料、石炭
文政1年(1818) 英船浦賀へ来航	を供給する等)
文政3年(1820) 浦賀奉行に相模沿岸警備命令	<事実上の開国>
文政5年(1822) 英船浦賀へ来航	安政5年(1858) 日米修好通商条約調印
天保8年(1837) モリソン号事件(討払い令実践)	(神奈川、長崎、新潟、兵
弘化元年(1844) 琉球政府に通商を求める	庫の開港と外人居留地設
弘化3年(1846) 英仏艦隊琉球へ来航(圧力)	置、領事裁判権、関税自
米東インド艦隊司令官(ビッドル)浦賀へ	主権の否定)

2. 蓬左文庫蔵「知多郡砲台烽火台 乾坤」について

内容のあらまし

★ お台場

- お台場(砲台)の設置 一林崎(師崎)と一色(内海)一
- お台場の様子 一大砲の種類や弾薬一

★ 迎撃船団

- 船団の編成と配置 一壺番手と弐番手一

★ 連絡手段

- 烽火台による方法 一烽火台の位置・構造一
- 飛脚継立てによる方法
一仕組みのあらまし(基本方針と「注進札」、継立て場一

3. これらの対策の影響

(1) 某年某月、予行演習が行われたが

(2) 久米鋳物師との関係

文久元年酉十二月久米村武兵衛から久米村庄屋を通して尾張藩へ出された

「乍恐御嘆願願奉申上候御事」という文書

以上